

Windows 10 Office 2016 & Office 2019

⚠️ サポート終了

2025 / 10 / 14

Windows 10 および Office 2016 & Office 2019 は、2025 年 10 月 14 日にサポート終了 (EOS) を迎えます。

安心 & スムーズに移行するポイントは「早めの導入」です。

標的型メール攻撃、ランサムウェアなど、日々進化を続けるセキュリティ脅威への対策、場所や時間にとらわれずに働ける環境には、Windows 11 & Microsoft 365 の組み合わせが最適です。この機会に最新環境の導入をご検討ください。

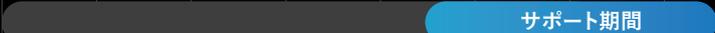
Windows 10 のサポートライフ サイクル

Windows 10 Enterprise / Education / Home / Pro の各エディションは、モダン ライフサイクル ポリシーに従います。

■ Windows 10 Enterprise and Education

Windows 10 22H2  サポート期間 **2025 年 10 月 14 日サポート終了**

■ Windows 10 Home and Pro

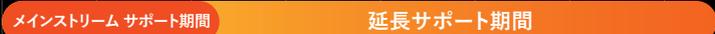
Windows 10 22H2  サポート期間 **2025 年 10 月 14 日サポート終了**

Windows 10 21H2  サポート期間 **2023 年 6 月 13 日サポート終了**

2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

- 21H2 以前の Windows 10 はすでにサポートが終了しています。
- 現在のバージョンである 22H2 は Windows 10 の最終バージョンです。すべてのエディションはサポート終了日まで、毎月のセキュリティ更新プログラムのリリースを通じて、サポートが提供されます。
- 提供中の LTSC では、それぞれの固定ライフサイクルに基づいて、2025 年 10 月 14 日以降も更新プログラムが提供されます。
- Windows 10 Enterprise LTSC 2021、Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021 とともに 2027 年 1 月 12 日にメインストリーム サポートが終了し、後者は 2032 年 1 月 13 日に延長サポートが終了します。

Office のサポートライフサイクル

Office 2016  メインストリーム サポート期間 延長サポート期間 **2025 年 10 月 14 日延長サポート終了**

Office 2019  メインストリーム サポート期間 延長サポート期間 **2025 年 10 月 14 日延長サポート終了**

2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

サポートが終了すると、必要な更新が受けられなくなります



脆弱性に対するテクニカル サポート、バグ修正、またはセキュリティ修正プログラムがマイクロソフトから提供されなくなります。



サポート コンテンツの更新プログラムはこれ以上提供されず、ほとんどのオンライン ヘルプ コンテンツは廃止されます。



電話またはチャットのテクニカル サポートを受けることができなくなります。



Microsoft Update からソフトウェア更新プログラムを受け取れなくなります。

より快適により安全にお使いいただくために。最新環境の導入をご検討ください

サポート終了後もPCを使い続けた場合どうなる？

動作するからといってサポート終了後もPCを使い続けると、さまざまなセキュリティリスクが生じる可能性があります。

セキュリティリスクの増加

Windows 10 サポート終了後、マイクロソフトは更新プログラムやセキュリティパッチの提供を停止します。そのため、新しいセキュリティの脆弱性が見つかっても修正されないため、Windows 10 のOSが攻撃を受けたり、ハッキングされたりする可能性が高くなります。ウイルスやマルウェアなどの攻撃により、個人情報や重要なデータが漏えいすることがあるため、セキュリティリスクには注意が必要です。

サポート終了後のOSの問題点

Windows 10 のサポートが終了すると、OSに不具合が生じた場合でも修正プログラムの提供が行われず、問題解決が困難になる可能性があります。また、新しいアプリケーションやデバイスの動作が保証されないため、利用に支障をきたすこともあります。サポート終了後もWindows 10 を使用する場合には、セキュリティリスクに注意するとともに、OSの不具合などにも配慮し、予め対策を講じておく必要があります。

Windows 10 サポート終了に備えた対応策

Windows 10 のサポート終了に備えるには、以下の対処法があります。

1. Windows 10 からWindows 11 へのアップグレードする

Windows 10 のサポートが終了する前に、OSをWindows 11 にアップグレードすることで、セキュリティリスクを軽減できます。Windows 11 あれば今後もサポートが続くため、現状より高い安全性と機能が得られます。なお、アップグレードするには自動更新機能を使う方法や、公式サイトから手動でダウンロードする方法などがあります。

しかし、Windows 11 へアップグレードする場合、古いPCではbit数やTPM※を満たさない場合があるため、アップグレード前にシステム要件をご確認ください。対応していない場合は、新しいPCの導入も検討する必要があります。

プロセッサ	1 GHz以上で 2 コア以上の64 ビット互換プロセッサまたは System on a Chip (SoC)
メモリ	4 GB以上
ストレージ	64 GB以上
システムファームウェア	UEFI、セキュアブート対応
TPM	バージョン 2.0
グラフィックスカード	DirectX 12 以上 (WDDM 2.0 ドライバー) に対応
ディスプレイ	対角サイズ 9 インチ以上で 8 ビットカラーの高解像度 (720p) ディスプレイ
その他	インターネット接続、Microsoft アカウントなど

2. 別のOSに移行する

Windows 10 のサポートが終了する前に、LinuxやmacOSなどのOSに移行することでセキュリティリスクを避ける方法もあります。しかし、OSを変更することで利用しているアプリケーションやサービスを使用できなくなる可能性があります。

3. 仮想デスクトップの活用

Windows 11 へアップグレードできない場合、仮想デスクトップを活用してみるのもよいでしょう。仮想デスクトップとは、リモートでアクセスすることができる仮想的なデスクトップ環境です。常に最新の機能やセキュリティ環境を利用できるため、サポート終了の影響も受けることはありません。さらに、従業員が自宅からアクセスするなどの柔軟な働き方が可能になるため、セキュリティや生産性の向上につながります。